



三訂版

明るく 楽しく

ドイツ語を!

在間 進

◆ 納谷昌宏 ◆

清野智昭

SANSHUSHA

## まえがき

本書を手に取り、学生のみなさんは今、少し胸を躍らせているのではないのでしょうか。日常のメディア情報の中でも、世界史や政治・経済などを学ぶなかでも、きっとみなさんは、「ドイツ」という言葉を何度も何度も耳にしたことと思います。これからみなさんは、その国の言葉を学ぶのです。

本書の作成に際し、一番心がけたことは、文法事項が体系的に学べるよう、各課の学習事項のつながりに心を配ること、そして各課の学習事項が量的にアンバランスにならないよう——メリハリをつけつつも——均等に配分することの2つです。なお、各課の例文は、独文和訳の練習にもなるよう工夫しました。

ドイツ語はけっして難しい言語ではありません。みなさんが焦らず、気楽に、そして繰り返し学ぶ熱意さえ持つならば、ドイツ語の学習も、明るく楽しいものになるはずですよ。

世界は今ますます小さくなっています。外国に行くのも、昔と比べるとずっとずっと簡単になりました。しかし、その国の言葉ができるかできないかで親しみの感じ方はまったく異なってきます。本書を通して、一人でも多くの方がドイツ語に、そしてドイツに親しみをを感じるようになることを心から願ってやみません。

2004年春

著者

Rom ist auch nicht an einem Tag erbaut worden.

ローマは一日にしてならず。

Wo ein Wille ist, da ist auch ein Weg.

成せばなる（意志のあるところには道もある）。

頑張りましょう。

もくじ

Alphabet	9		
発音	10		
<b>LEKTION 1 人称代名詞 (1)・動詞の現在人称変化</b>	12		
1 ▶ 人称代名詞	2 ▶ 動詞の人称変化		
3 ▶ 定形, 不定形	4 ▶ 重要な不規則変化動詞の人称変化		
[補足] 人称変化のヴァリエーション			
<b>LEKTION 2 名詞の性と格変化</b>	16		
1 ▶ 名詞の性	2 ▶ 名詞の格変化		
[補足] 男性弱変化名詞・不規則名詞			
<b>LEKTION 3 語順</b>	20		
1 ▶ 平叙文	2 ▶ 疑問文	3 ▶ 副文	4 ▶ 疑問詞
5 ▶ 従属接続詞・並列接続詞			
<b>LEKTION 4 前置詞の格支配</b>	24		
1 ▶ 前置詞の格支配	2 ▶ 1つの格とのみ結びつく前置詞		
3 ▶ 3格と4格を支配する前置詞			
4 ▶ 前置詞と定冠詞の融合形	5 ▶ 前置詞格目的語		
6 ▶ 不定詞句			
<b>LEKTION 5 名詞の複数形・不規則動詞</b>	28		
1 ▶ 名詞の複数形	2 ▶ 複数形の格変化		
3 ▶ 不規則動詞			
[補足] 不規則動詞 wissen			
<b>LEKTION 6 冠詞類の格変化</b>	32		
1 ▶ 冠詞類	2 ▶ 定冠詞類	3 ▶ 不定冠詞類	
4 ▶ 否定冠詞の用法	5 ▶ 冠詞類の独立的用法		
<b>LEKTION 7 形容詞の格変化</b>	36		
1 ▶ 形容詞の用法	2 ▶ 定冠詞類と共に用いられる場合		
3 ▶ 不定冠詞類と共に用いられる場合			
4 ▶ 冠詞類を伴わない場合			
[補足] etwas, nichts と使われる場合			
<b>LEKTION 8 人称代名詞 (2)・再帰代名詞</b>	40		
1 ▶ 人称代名詞の格変化	2 ▶ 事物を表す人称代名詞		
3 ▶ 人称代名詞の語順	4 ▶ 再帰代名詞	5 ▶ 再帰動詞	

LEKTION 9	分離動詞・zu 不定詞句	44
	1 ▶ 分離動詞    2 ▶ 非分離動詞    3 ▶ zu 不定詞(句)	
LEKTION 10	話法の助動詞・命令形	48
	1 ▶ 話法の助動詞の人称変化    2 ▶ 話法の助動詞の語順	
	3 ▶ 話法の助動詞の用法    4 ▶ 命令形	
LEKTION 11	過去形・現在完了形	52
	1 ▶ 3基本形    2 ▶ 過去人称変化    3 ▶ 完了不定詞	
	4 ▶ 現在完了	
LEKTION 12	受動態	56
	1 ▶ 受動不定詞    2 ▶ 受動態の現在形    3 ▶ 受動態の各時制	
	4 ▶ 能動文と受動文    5 ▶ 自動詞の受動文    6 ▶ 状態受動	
LEKTION 13	比較級	60
	1 ▶ 形容詞の比較級・最上級    2 ▶ 付加語的用法	
	3 ▶ 述語的用法    4 ▶ 副詞的用法(および副詞)の比較表現	
	5 ▶ 同等比較	
LEKTION 14	関係文	64
	1 ▶ 定関係代名詞の格変化    2 ▶ 定関係代名詞の用法	
	3 ▶ 不定関係代名詞 wer / was	
LEKTION 15	接続法	68
	1 ▶ 接続法    2 ▶ 接続法第1式    3 ▶ 接続法第2式	
	4 ▶ 接続法の用法(1) - 間接話法 -	
	5 ▶ 接続法の用法(2) - 非現実話法 -    6 ▶ 接続法の時制	
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">補足</span> 非現実話法のさまざまな用法	
付 録	数詞・時刻	73
	1 ▶ 数詞    2 ▶ 時刻	
	主要不規則動詞変化一覧表	74



ドイツ語を話す国々



# ヨーロッパの国々





# Alphabet

A	a	<i>A a</i>	[a:]	Q	q	<i>Q q</i>	[ku:]
B	b	<i>B b</i>	[be:]	R	r	<i>R r</i>	[er]
C	c	<i>C c</i>	[tse:]	S	s	<i>S s</i>	[es]
D	d	<i>D d</i>	[de:]	T	t	<i>T t</i>	[te:]
E	e	<i>E e</i>	[e:]	U	u	<i>U u</i>	[u:]
F	f	<i>F f</i>	[ef]	V	v	<i>V v</i>	[fau]
G	g	<i>G g</i>	[ge:]	W	w	<i>W w</i>	[ve:]
H	h	<i>H h</i>	[ha:]	X	x	<i>X x</i>	[iks]
I	i	<i>I i</i>	[i:]	Y	y	<i>Y y</i>	[ˈypsilon]
J	j	<i>J j</i>	[jɔt]	Z	z	<i>Z z</i>	[tsɛt]
K	k	<i>K k</i>	[ka:]				
L	l	<i>L l</i>	[ɛl]	Ä	ä	<i>Ä ä</i>	[e:]
M	m	<i>M m</i>	[ɛm]	Ö	ö	<i>Ö ö</i>	[ø:]
N	n	<i>N n</i>	[ɛn]	Ü	ü	<i>Ü ü</i>	[y:]
O	o	<i>O o</i>	[o:]				
P	p	<i>P p</i>	[pe:]	ß		<i>ß</i>	[ɛs-'tsɛt]



# 発音

○アクセントは原則として第1音節にある。

○原則としてローマ字のように読む。

Ball ボール      Tante おば      Name 名前      Blume 花

▶ ドイツ語の名詞は大文字で書き始める

○ドイツ語特有の発音

ä	[ɛ] [ɛ:]	Lärm	騒音	Träne	涙
ö	[œ] [ø:]	können	…できる	möglich	可能な
ü	[y] [y:]	dürfen	…してよい	müde	疲れて (いる)
ie	[i:]	Liebe	愛	lieben	愛する
ei	[ai]	Eis	氷	Arbeit	仕事
eu } äu }	[ɔʏ]	Freund	友人	heute	きょう
ch { a,o,u } { au の後 }	[x]	Nacht	夜	noch	まだ
その他	[ç]	Buch	本	auch	…もまた
j	[j]	Milch	ミルク	Küche	台所
pf	[pf]	ja	はい	Japan	日本
sch	[ʃ]	Apfel	りんご	Kopf	頭
ss,ß	[s]	Schule	学校	Englisch	英語
		Tasse	カップ	Fuß	足

▶ 前の母音が短いときは ss, 前の母音が長いか二重母音のときは ß を用いる

tsch	[tʃ]	Deutsch	ドイツ語	Peitsche	むち
tz	[ts]	Katze	猫	jetzt	いま
v	[f]	Vater	父親	viel	たくさん
w	[v]	Wort	語	was	何が
z	[ts]	tanzen	踊る	Zeit	時間
s + 母音	[z]	Sonne	太陽	reisen	旅行する
sp (語頭)	[ʃp]	Sprache	言語	sprechen	話す
st (語頭)	[ʃt]	Student	学生	Straße	通り
-b (語末)*	[p]	lieb	愛らしい	abfahren	出発する
-d (語末)*	[t]	Hund	犬	Kind	子供
-g (語末)*	[k]	Tag	日	Weg	道
-ig (語末)*	[ɪç]	traurig	かなしい	König	王

\*あるいは音節末

無音の h	ohne	…なしで	gehen	行く
語末の -er } -r }	Lehrer	先生	Mutter	母親
	Uhr	時計	vor	…の前に

[ə]

これらの原則からはずれるものもあるが、そのような単語は具体例に即して覚えること。

○あいさつ

Guten Morgen !	おはよう。
Guten Tag !	こんにちは。
Guten Abend !	こんばんは。
Gute Nacht !	おやすみなさい。
Wie geht es Ihnen ?	お元気ですか？
—Danke, mir geht es gut.	ありがとうございます, 元気です。
Tschüss !	バイバイ。

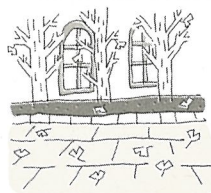
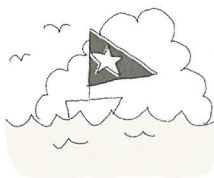
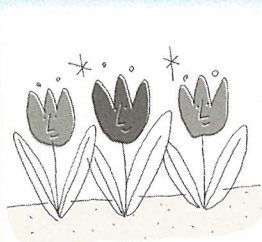
○季節・月

Frühling 春

Sommer 夏

Herbst 秋

Winter 冬



März 3月

Juni 6月

September 9月

Dezember 12月

April 4月

Juli 7月

Oktober 10月

Januar 1月

Mai 5月

August 8月

November 11月

Februar 2月

○曜日

Montag	月曜日
Dienstag	火曜日
Mittwoch	水曜日
Donnerstag	木曜日
Freitag	金曜日
Samstag (Sonnabend)	土曜日
Sonntag	日曜日

## 人称代名詞(1)・動詞の現在人称変化

## キーセンテンス

Guten Morgen, Herr Müller !

Guten Tag, Frau Meyer !

Guten Abend, Karin !

Gute Nacht, Renate !



## 1 ▶ 人称代名詞

○主語になる人称代名詞には**人称**と**数**に応じて次のような形がある。

	1人称		2人称		3人称	
単数	ich	私は	du	君は	er	彼は
					sie	彼女は
					es	それは
複数	wir	私たちは	ihr	君たちは	sie	彼(彼女、それ)らは
2人称敬称 : Sie   あなたは / Sie   あなた方は						

- ich は英語の I と異なり文頭以外では常に小文字。
- 3人称単数の sie 「彼女」と3人称複数の sie 「彼ら」は形が同じなので注意すること。
- 2人称は du / ihr の他に Sie (単複同形) がある。du / ihr の形は**親称**と呼ばれ、家族、恋人、親友などの親密な関係の人に用いる。一方、Sie の形は**敬称**と呼ばれ、初対面の人はもちろん、普通の社会的な関係の人に用いる。Sie は常に語頭を**大文字**で書く。



## 2 ▶ 動詞の人称変化

○ドイツ語の動詞は**語幹**＋**語尾**から成り立ち、語尾は主語の人称と数に応じて形が異なる。このことを動詞の**人称変化**という(イタリックの部分が語幹、太字の部分が語尾)。

	単数		複数	
1人称	ich	<i>lerne</i>	wir	<i>lernen</i>
		私は学ぶ		私たちは学ぶ
2人称	du	<i>lernst</i>	ihr	<i>lernt</i>
		君は学ぶ		君たちは学ぶ
3人称	er	<i>lernt</i>	sie	<i>lernen</i>
		彼は学ぶ		彼らは学ぶ

▶ 3人称単数において er / sie / es は常に同一の人称変化をするので、人称変化表では er で代表させる。



○2人称敬称は、3人称複数と同一の人称語尾をつける。

sie lernen 彼らは学ぶ      Sie lernen あなた(方)は学ぶ



### 3 ▶ 定形, 不定形

○動詞が人称変化した形を、主語が定まっている形という意味で、**定形**と呼ぶ。これに対して**不定形**がある。不定形は英語の原形 (*am, is* などに対する *be*) に相当するもので、辞書の見出し語などに用いられる。不定形は語幹に **-en** をつけて作られ、通常1人称・3人称の複数形と同形である。なお、一部の動詞の不定形は、語幹+ **-n** によって作られる。

不定形 lernen 学ぶ      ➔ wir / sie lernen      私たちは / 彼らは学ぶ

不定形 angeln 釣をする      ➔ wir / sie angeln      私たちは / 彼らは釣りをする



### 4 ▶ 重要な不規則変化動詞の人称変化

○次の動詞は、不規則変化をするが、非常に重要であるので、暗記すること。

不定形 sein	不定形 haben	不定形 werden
ich <b>bin</b> wir <b>sind</b>	ich habe    wir haben	ich werde    wir werden
du <b>bist</b> ihr <b>seid</b>	du <b>hast</b> ihr habt	du <b>wirst</b> ihr werdet
er <b>ist</b> sie <b>sind</b>	er <b>hat</b> sie haben	er <b>wird</b> sie werden

#### 補足 人称変化のヴァリエーション

①動詞の語幹が **-d / -t** で終わるものは、**du** に対する語尾が **-est**、**er / ihr** に対する語尾が **-et** になる。なお、挿入される **e** を口語上の **e** という。

warten 待つ      : du wartest,      er / ihr wartet

finden 見つける : du findest,      er / ihr findet

②動詞の語幹が **-s** などの歯音 (その他 **-ss- / -ß- / -tsch- / -tz- / -z-**) で終わるときは、**du** に対する語尾が **-st** ではなく **-t** になる。

reisen 旅行する : du reist, er reist

tanzen 踊る      : du tanzt, er tanzt

③不定形が **-en** で終わる動詞は1人称単数において語幹末尾の **e** を省く。

angeln 釣りをする : ich angle



# ÜBUNGEN

1 | 次の動詞の語幹と語尾を言いなさい。

- (1) gehen → \_\_\_\_\_
- (2) antworten → \_\_\_\_\_
- (3) lächeln → \_\_\_\_\_

2 | 下線部に lernen の定形を入れなさい。

- (1) Ich \_\_\_\_\_ Deutsch.
- (2) Er \_\_\_\_\_ Englisch.
- (3) Wir \_\_\_\_\_ Französisch.

Französisch 「フランス語」  
Italienisch 「イタリア語」  
Japanisch 「日本語」  
Chinesisch 「中国語」  
Koreanisch 「韓国・朝鮮語」

3 | 下線部に sein の定形を入れなさい。

- (1) Ich \_\_\_\_\_ Student.
- (2) Ihr \_\_\_\_\_ jung.
- (3) Du \_\_\_\_\_ Lehrerin.

語尾 -in をつけると女性名詞になる

4 | 下線部に haben の定形を入れなさい。

- (1) Du \_\_\_\_\_ Hunger.
- (2) Wir \_\_\_\_\_ Durst.
- (3) Ich \_\_\_\_\_ Geld.

5 | 例にならい、ドイツ語で言いなさい。

- Er studiert Medizin. (studieren)
- (1) Ich \_\_\_\_\_ Johann. (heißen)
- (2) Er \_\_\_\_\_ viel. (arbeiten)
- (3) Du \_\_\_\_\_ gern. (reisen)

6 | 例にならい，ドイツ文を作りなさい（動詞は不定形で示してあります）。

wir / zusammen / singen

➔ **Wir singen zusammen.**

(1) Herr Stein / Bier / trinken

➔

(2) Anna und Monika / gern / singen

➔

(3) Frau Meyer / Klavier / spielen

➔

(4) ich / in Berlin / wohnen

➔

Klavier spielen 「ピアノを弾く」  
Geige spielen 「バイオリンを弾く」  
Fußball spielen 「サッカーをする」

## plus α

ドイツ語の現在形は，次の事柄を表すときに用いられる。

①事実としての事柄

Er ist Student.                      彼は学生です。

Er spielt gut Tennis.                彼はテニスをするのがうまい。

②現在進行中の事柄，つまり英語ならば現在進行形で表される事柄（ドイツ語には英語のような現在進行形という特別な形式はない）

Er spielt gerade Tennis.            彼はテニスをしているところです。

③未来の事柄。ドイツ語には助動詞を用いた未来時制（→ Lektion10）があるが，その生起が確実だと思われる事柄を表現するときはふつう現在形で未来の事を表す

Ich spiele morgen Tennis.        私は明日テニスをします。